



平成23年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成23年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 ジャパンフーズ株式会社
コード番号 2599 URL <http://www.japanfoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本所 良太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 中尾 喜明

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

TEL 0475-35-2211

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	24,468	0.0	1,193	38.5	1,223	41.0	697	39.3
22年3月期第3四半期	24,460	4.8	861	38.1	867	36.7	500	91.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	136.76	
22年3月期第3四半期	98.14	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	12,711	6,478	51.0	1,270.23
22年3月期	12,369	5,923	47.9	1,161.39

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 6,478百万円 22年3月期 5,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		10.00		17.00	27.00
23年3月期		10.00			
23年3月期(予想)				17.00	27.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	3.4	1,050	15.7	1,070	17.0	550	5.3	107.84

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]P.2「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	5,100,000株	22年3月期	5,100,000株
期末自己株式数	23年3月期3Q	8株	22年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	5,099,995株	22年3月期3Q	5,100,000株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての内容等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2 . その他の情報	2
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
3 . 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、前半はアジア向け輸出の増加や景気刺激策に支えられ、回復傾向にありましたが、後半に入り、円高が定着したことや世界経済の減速等から輸出や生産が鈍化し、景気は足踏み状態になっております。

飲料業界におきましては、春先は天候不順や個人消費の低調等から販売は低迷しましたが、7月以降は猛暑が続いたことにより、炭酸飲料やスポーツ飲料が牽引役となり、販売は好調に推移しました。この結果、当第3四半期累計期間における業界全体の販売数量は、前期比3%増（民間調査機関調べ）となりました。

このような状況下におきまして、当社は、製造と販売が一体となった積極的な受注活動を行い、日曜日を含めた連続稼働（全生産12ラインの内4ライン）による生産性の向上に努めた結果、受託製造数量は368,950キロリットル（前期比5.3%増）、36,683千ケース（前期比3.7%増）となり、容量及びケース数ともに第2四半期累計期間に続き過去最高となりました。

また、売上高につきましては、前期とほぼ同額に止まりましたが、利益面におきましては、比較的加工賃の高い製品の受注増と製造コストの低減に努めた結果、営業利益、経常利益及び四半期純利益とも、前期に比べ増加しました。しかしながら、第3四半期において製品の回収問題が発生したことにより、今後損失が見込まれる回収費用等を引当金として特別損失に計上いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は24,468百万円（前期比0.0%増）、営業利益は1,193百万円（前期比38.5%増）、経常利益は1,223百万円（前期比41.0%増）、四半期純利益は697百万円（前期比39.3%増）となりました。

なお、当社の売上高は、事業の性質上、上半期と下半期の受注数の割合が上半期のほうが大きいため、事業年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間に著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は、現金及び預金が増加したため、前事業年度末に比べ342百万円増加し、12,711百万円となりました。一方、負債については、買掛金や未払金等は増加しましたが、長期借入金や未払法人税等が減少したため、前事業年度末に比べ212百万円減少し、6,233百万円となりました。また、純資産については、利益剰余金の増加により、前事業年度末に比べ555百万円増加し、6,478百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

平成23年3月期通期の業績予想につきましては、平成22年10月28日に公表しました予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

棚卸資産の評価方法

当第3四半期末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前四半期末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法としております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,544,934	1,224,983
電子記録債権	697,666	-
売掛金	3,508,354	4,121,183
商品及び製品	32,242	22,252
原材料及び貯蔵品	181,772	199,759
その他	229,400	252,007
流動資産合計	6,194,371	5,820,186
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,247,294	6,163,885
減価償却累計額	3,960,550	3,827,648
建物(純額)	2,286,743	2,336,236
構築物	1,824,943	1,795,793
減価償却累計額	1,350,726	1,302,296
構築物(純額)	474,217	493,496
機械及び装置	17,873,959	17,277,432
減価償却累計額	15,233,572	14,702,507
機械及び装置(純額)	2,640,387	2,574,925
車両運搬具	47,394	44,254
減価償却累計額	42,876	40,675
車両運搬具(純額)	4,517	3,579
工具、器具及び備品	503,677	493,587
減価償却累計額	451,642	431,492
工具、器具及び備品(純額)	52,034	62,095
土地	464,590	464,590
建設仮勘定	3,707	74,283
有形固定資産合計	5,926,198	6,009,207
無形固定資産	66,888	98,103
投資その他の資産	524,359	441,718
固定資産合計	6,517,446	6,549,029
資産合計	12,711,818	12,369,216

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,746,051	2,596,857
1年内返済予定の長期借入金	627,600	627,600
未払金	1,324,158	1,037,456
未払費用	37,553	51,022
未払法人税等	266,752	422,361
未払消費税等	57,139	77,071
預り金	63,929	14,039
賞与引当金	75,000	160,000
役員賞与引当金	16,650	40,000
製品廃棄負担引当金	44,000	-
その他	185	174
流動負債合計	5,259,018	5,026,583
固定負債		
長期借入金	954,100	1,399,000
その他	20,538	20,538
固定負債合計	974,638	1,419,538
負債合計	6,233,656	6,446,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	628,800	628,800
資本剰余金	272,400	272,400
利益剰余金	5,566,085	5,006,335
自己株式	6	-
株主資本合計	6,467,278	5,907,535
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,883	15,560
評価・換算差額等合計	10,883	15,560
純資産合計	6,478,161	5,923,095
負債純資産合計	12,711,818	12,369,216

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	24,460,059	24,468,900
売上原価	22,165,500	21,861,132
売上総利益	2,294,559	2,607,768
販売費及び一般管理費	1,433,114	1,414,760
営業利益	861,444	1,193,007
営業外収益		
受取利息	205	156
受取配当金	1,917	1,921
受取手数料	7,088	7,666
受取保険金	22,796	4,923
受取賃貸料	-	23,614
その他	9,757	19,841
営業外収益合計	41,765	58,124
営業外費用		
支払利息	23,397	17,676
支払補償費	9,201	6,655
その他	2,994	3,208
営業外費用合計	35,594	27,540
経常利益	867,616	1,223,591
特別損失		
製品廃棄負担引当金繰入額	-	44,000
特別損失合計	-	44,000
税引前四半期純利益	867,616	1,179,591
法人税、住民税及び事業税	383,000	485,500
法人税等調整額	15,922	3,358
法人税等合計	367,077	482,141
四半期純利益	500,539	697,449

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。